



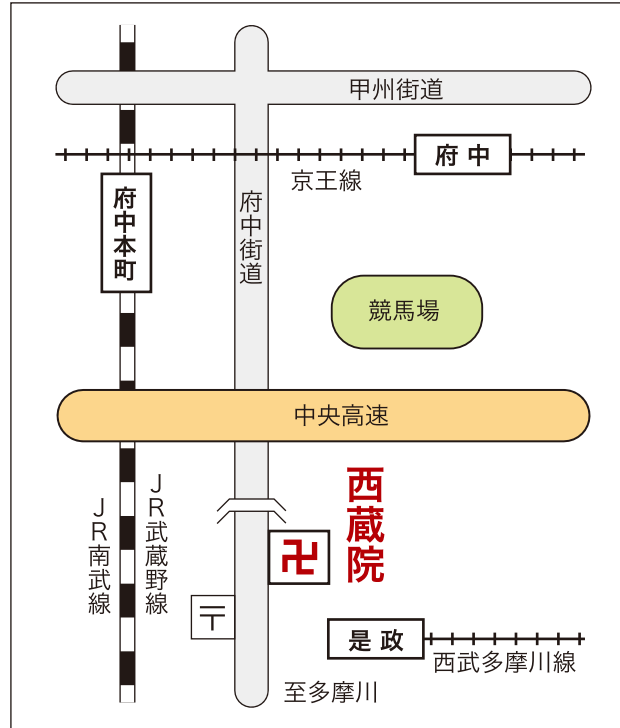
西蔵院住職  
榎本 隆乗

昭和37年東京都府中市に生まれる。大正大学在学中に先代住職である父の隆成を亡くし、以降、檀家や同宗の僧家に支えられながら西蔵院32世住職として寺を守る。同大学で仏教学を学び、真言宗豊山派の総本山である奈良の長谷寺で開祖空海の教えを修めた。榎本家は亮雅、亮成、隆成、隆乗と4代にわたる僧家。現在の住職である隆乗は地縁や人の和を尊び、日々の暮らしのなかでの寺の役割や仏の道を説く。

# 是政山 西蔵院

〒183-0014 東京都府中市是政3丁目35-10  
TEL 042-361-6912

## ■ 案内地図



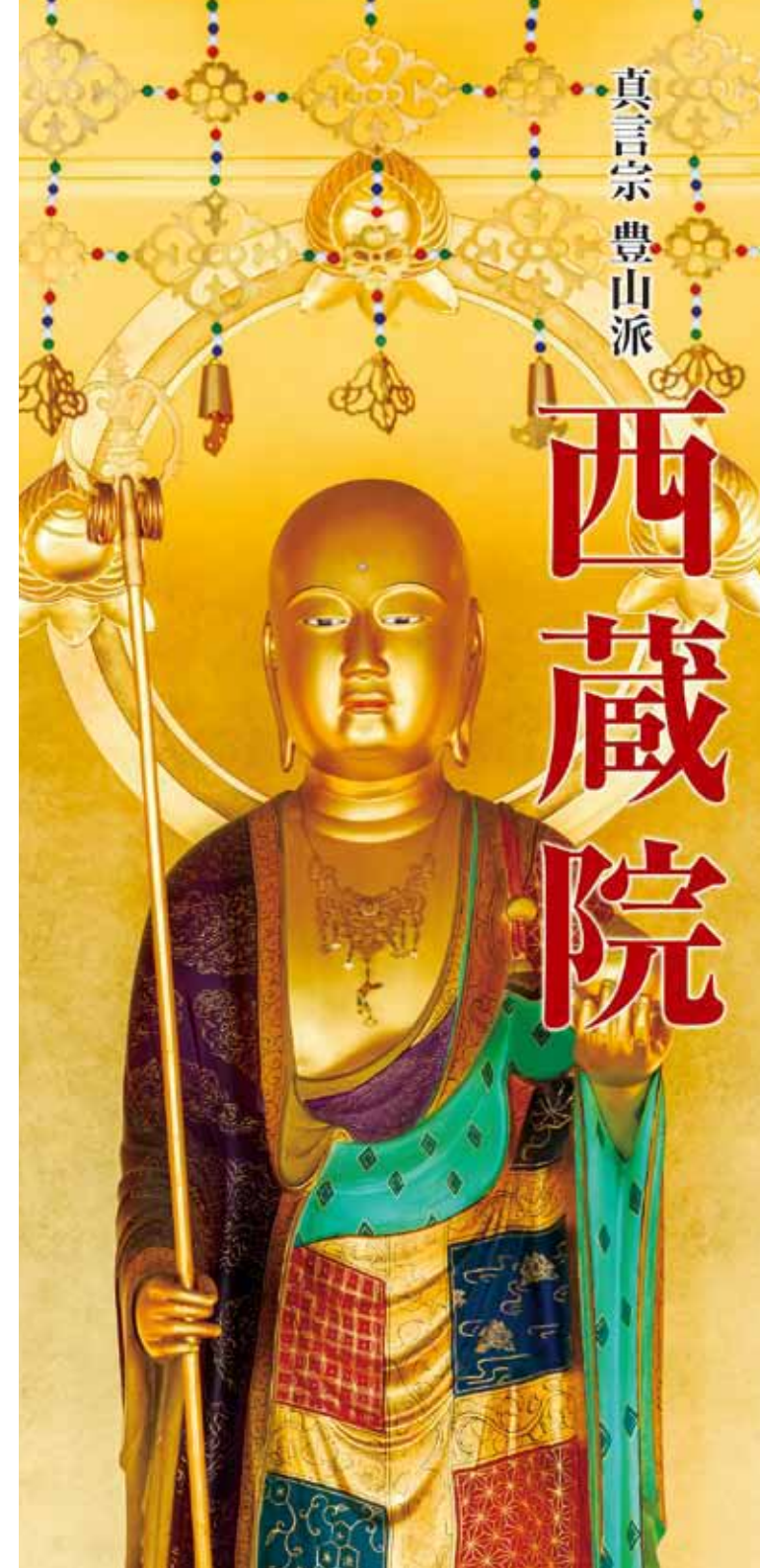
## ■ 交通案内

- JR中央線 武蔵境駅乗り換え 西武多摩川線 是政駅下車5分
- JR南武線・JR武蔵野線 府中本町駅下車徒歩15分
- 京王線府中駅下車 稲荷市立病院行バス 西蔵院前下車0分
- 京王線府中駅発ちゅうバス 是政循環 是政下車徒歩5分

墓所のお問い合わせは

## (有) 沼尾石材店

〒183-0055 東京都府中市府中町1-28-7  
TEL 042-361-2703  
e-mail info@numaosekizai.co.jp  
URL <http://www.numaosekizai.co.jp/>



## 西蔵院ってどんなお寺ですか？

是政山西蔵院は、東京都府中市に古くからある真言宗豊山派の寺院で、寺号は宝珠寺。多摩八十八ヶ所霊場のひとつにも挙げられています。ご本尊は金剛界大日如来です。

伝承によれば、その始まりは平安末期の保延元年（1135年）。その後、文明6年（1475年）に権大僧都源興によつて中興されました。明和年間（1764年～1772年）に火災に見舞われますが、すぐにも再建され、安永8年（1779年）には地藏堂が建て直されました。平成10年より

## 鼻取地藏尊の言い伝えって？

お地藏様にまつわる伝承です。農耕用の馬が暴れて困り果てている農夫のもとに、どこからともなく見知らぬ小僧さんが現れ「おれが馬の鼻棒を持ってやる」といいます。喜んで小僧さんに鼻棒を任せると馬は急におとなしくなり、水田を耕す仕事はあっというまに終わりました。気がつけばもうそこに小僧さんの姿はありません。不思議に思いながらの帰り道、農夫はいつもの地藏堂をお詣りします。ふと見ると、お地藏様の足もとが田んぼの泥で汚れていました。「さては先ほどの小僧さんはこのお地藏様だったか」。農夫はありがたく手を合わせました。

## お寺の役割って何ですか？

ひとにはみな居場所が必要です。居場所があれば心が安らぐ。逆にそれがなければ、たとえ家においても心は空しい。子どもには子どもの、お年寄りにはお年寄りの居場所があります。それは地域や社会

のなかで役割を果たすことでつくられていきます。

地域や社会のため  
に役立っていると感

本堂、地藏堂、鐘楼、客殿庫裏を改修し、平成13年に落慶。現在に至ります。

地藏堂に祭られた鼻取地藏尊（室町時代の作）は、民間の言い伝えとともに長くこの地域の人々の

信仰を集めてきました。毎年9月24日には地藏尊のお祭りが催され、お地藏様への信仰はいまも受け継がれています。



本堂



鼻取地藏尊

明治から大正にかけて、馬を扱う農民や地域の人たちがこの地藏堂を盛んに訪ね、その賑わいは縁日が立つほどだったと伝えられています。

じることには気持ちのいいものです。他人のために尽くすのは尊いことですが、さらに仏様のためと思うと不思議に力が湧いてきます。お寺の役割というのは、そのように地域をまとめ人々のつながりを強めていくところにあるのではないのでしょうか。

また、いまは大人も子どももみんな忙しそうにしていますね。一日に少しでもいいから仏壇の前で手を合わせ、心静かな時を過ごしてほしいものです。すると自分が何世代もの人々とつながっていることがわかります。あなたはひとりではない。そこにあなたの居場所もあります。



ご本尊大日如来